



# アマゾーネ 搭載型シードドリル CATAYA (カタヤ)



※イメージはツインテックコールドアインハロー仕様です。

## 標準装備品

<種子残量センサー>



種子の残量が一定以下のレベルまで減少すると、種子残量センサーが感知し、警告音を鳴らします。同時に、警告メッセージが操作ターミナルに表示されますので、補充タイミングの把握に有効です。

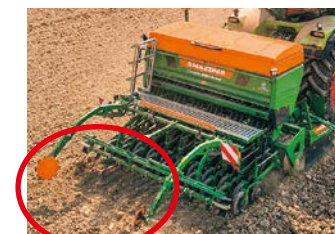
<LED作業灯>



ホッパー内・外部の作業灯がセットになっています。本体後部を照らすことで快適な夜間作業を実現します。また、ホッパー内部が照らされることでホッパーの小窓から種子残量の確認を容易に行うことができます。

## オプション (特別注文装備品)

<トラムラインマーカー>



トラムライン制御によって、防除するトラクタのタイヤ幅・トレッドに合わせて、自動的に繰り出しローラーを停止します。この時、トラムラインマーカーが自動的に下がり、防除道に印をつけます。

<トラックマーカー>



パワーハローKE01/KG01シリーズに装着可能なトラックマーカーです。操作はトラクタの外部油圧で行います。

## 2種類の操作ターミナル

AMATRON4  
(アマトロン4)



AMAZONE社製プレーヤやブロードキャスターなど、幅広い作業機に対応しているISOBUSターミナルです。作業面積、繰り出しローラー回転速度などの基本情報はもちろん、トラムライン制御、播種量の増減を行うことも可能です。

AMADRILL2  
(アマドリル2)



播種機に特化したシンプルな操作性が特徴です。トラムライン制御時、播種量を自動的に調整します。

※ISOBUS 未対応です。

型 式 区 分	Cataya 3000 Special			Cataya 3000 Super			Cataya 4000 Super			
	SPS	SPREH	SPRRH	SUREH	SURRH	SUTTH	SUREH	SURRH	SUTRH	
本体	スペシャル	SP	○							
	スーパー	SU	—		○			○		
コールドアイン	ローテック	R	—	○		—	○		—	
	ツインテック	T	—	—	—	○	—	—	○	
	サフォーク	S	○	—	—	—	—	—	—	
ハロー	ローラー	RH	—	—	○	—	—	○	—	
	エクストラ	EH	—	○	—	—	○	—	—	
	タイン	TH	—	—	—	○	—	—	○	
作業幅 (m)				3.0			4.0			
移動幅 (m)				3.0			4.0			
条 数	24			24			32			
条 間 (cm)	12.5			12.5			12.5			
作業速度 (km/h)	6~8	6~10		6~10		8~15	6~10		8~15	
ホッパー容量	シードホッパー (L)	650			830			1,180		
	増し枠装着時 (L)	850			1,270			1,730		
投入高さ	シードホッパー (m)	1.66			1.75			1.75		
	増し枠装着時 (m)	1.79			1.96			1.94		
投入幅 (m)	2.55			2.6			3.52			
最低所要馬力 (Kw/Hp)	74/100			96/130			140/190			
本体重量 (kg) (コールドアイン、ステップ付き)	680	800		920	1,175	1,270	1,370			
重 量	KE 3001 Super 装着時 (kg)	2,660	2,780	2,660	2,915	2,864	2,964			
	KG 3001 Super 装着時 (kg)	2,900	3,020	2,900	3,155	3,100	3,200			

※操作ターミナルは標準装備で、全ての型式において AMADRILL 2、AMATRON 4 のいずれかをお選びいただけます。  
※この諸元表は改良のため予告なく変更となる場合があります。

取扱販売店

株式会社 **イセキ北海道**

本 社 〒068-0014 北海道岩見沢市東町2条7丁目1004番地1  
TEL:0126(22)3388 FAX:0126(25)5645  
道東商品センター 〒080-2459 北海道帯広市西19条北2丁目13番地5  
TEL:0155(66)6961 FAX:0155(66)6965



# 更なる進化を遂げる! 圧倒的な技術力で理想の播種を実現する コンビネーションドリルの最高傑作!

## 残渣物の付着を防ぐ! AMAZONE自慢の「ローテックコールドター」

ローテックコールドター側面のオレンジ色のディスクには、播種深度を調整する役割があります。極めて均等で精密な深度制御は、接地面10mm幅の「コントロール10」または接地面25mm幅の「コントロール25」ディスクにより行われます。3段階で播種深さ調整が可能で、希望の播種深さに1条ずつ調整することも出来ます。黒色のディスクコールドター、そしてオレンジ色のコントロール10及びコントロール25によって、播種深さの迅速・簡単な調整を実現します。

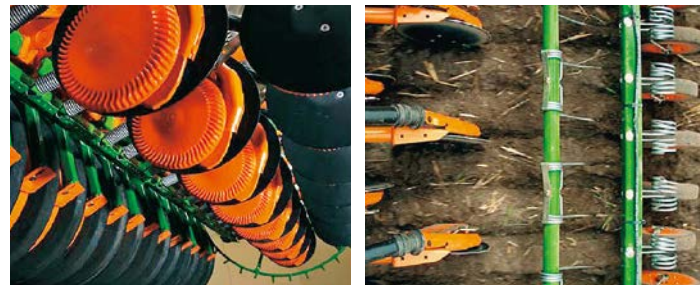


接地面10mm幅の「コントロール10、右」、接地面25mm幅の「コントロール25、左」

工具不要の3段階播種深さ調整

## これまで25万台以上の出荷実績、アグリテクニカで銀賞受賞!

ローテックコールドターは、黒とオレンジの2つのディスクが双方回転することにより、残渣物の引きずりや土による詰まりを最小限に抑えます。さらに、正確な播種溝の形成に優れており、播種深度の安定化にもつながります。



## 「ツインテックコールドター」(仕様選択)

前後コールドター間は195mmという広いクリアランスを確保しており、重粘土質の圃場などでも土抜けが良く、詰まりが発生しにくいです。



工具でコールドター圧力調整が可能です。

## シーブ搭載ホッパー



2.60m×0.75mの広いホッパーは、より迅速な投入を可能にします。また、ホッパーにはシーブが標準装備されており、アジテーターや繰り出しユニットなどからユーザーの安全を確保すると同時に、異物混入による繰り出しユニットの損傷を防止します。

## KE・KG01との組み合わせで最高のパフォーマンスを実現

CATAYAは、パワーハローKE01あるいはカルチベーターKG01と組み合わせにより、整地・播種・鎮圧作業を同時に行える「コンビネーション作業」が可能なシードドリルです。コンビネーション作業を行うことで作業効率を飛躍的に向上させ、作業時間の短縮を図ります。

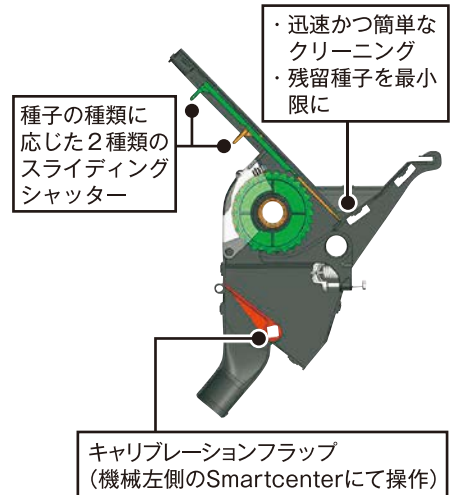


## 繰り出しユニット、残り種を最小限に



※オプションで豆用繰り出しローラーも装備可能です。

正確無比な繰り出しユニットを証明するように、イギリス農機雑誌profiから「繰り出しユニットの高い精度が非常に印象的。キャリブレーション値と実際の播種量がこれだけ一致するシードドリルはほとんど存在しない」との評価を得ています。繰り出しユニットは麦類など大粒種子向けの緑色、ナタネなど小粒向けのオレンジ色の2種類があり、スライディングシャッターを開閉することで簡単に切り替えができます。



## 工具不要! 簡単キャリブレーション



キャリブレーションは「Smartcenter」(スマートセンター)でキャリブレーションに用いるツインターミナル、及び、様々なツールが本体左側に集中配置されており、その場でキャリブレーションが完了します。ツインターミナルに播種量などを入力し、ボタン操作で種子を繰り出します。そして、トレイに落ちた種子を、付属の計測機で測定し、標準装備のツインターミナルへ入力することで、一連の作業が完了します。

## オペレーターに優しいマッチング



パワーハローやカルチベーターとの取付けの際、複雑な調整や工具は不要です。両サイドのワンタッチピンと、トップリックの連結で、マッチング作業が完了します。

## ローラーハロー



※ローテックコールドター仕様です。

播種溝を鎮圧することで理想の発芽条件を実現します。ローラー圧、コールドター圧とは別に独立した調整が可能なので、オペレーターが希望する鎮圧強さの調整が可能です。

## エクストラハロー



※ローテックコールドター仕様です。

播種溝の覆土と整地を行うエクストラハローは、個々が独立して動くため、圃場の凹凸にも追従、均一覆土を実現します。ハロー圧力は、ピンを差し替えるだけで調整可能です。

## 正確かつ精密な「サフォークコールドター」仕様



コールドターサポート

サフォークコールドターはブラウ耕での播種床、あるいは夾雑物が少ない播種床に適しています。鋳物製のコールドター先端部は極めて長寿命です。コールドターサポートは本機を降下させたときの詰まりを防止します。



1本のネジを緩めるだけで、簡単かつ迅速にコールドター先端部の交換が可能です。

バンドソーイングシュー(オプション)は簡単に取付が出来、播種深さを浅くします。

※CATAYA 3000 Special限定仕様です。

## コールドターハロー



ハローの強度は3段階でピンを挿入することにより簡単に調整できます。

※ツインテックコールドター仕様です。

## ローラードリルシステム (RDS) 一発芽率の改善・増収を目指す

